

令和5年度 第2回 日進市食育推進委員会 会議録

日 時 令和6年2月13日(火) 午前9時30分から11時15分まで
 場 所 JA あいち尾東中部ライスセンター内 事務所2階会議室
 出 席 者 安達 内美子、三宅 龍之介、朝井 基晶、吉川 智美、村瀬 幸代、岩本 直美
 植木 佳代、久野 理加、鈴木 正寿
 欠 席 者 森田 美佳
 事 務 局 農政課 課長 村瀬 厚、課長補佐 岡田 剛

【関係部署(説明のために出席した職員の職氏名)】

健康課 管理栄養士 出雲 絵梨奈
 こども課 総括管理栄養士 木村 文香
 学校教育課 学校教育指導員 松原 健
 学校給食課 栄養教諭 栗木 公美

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有

公開・非公開の状況 公開

- 次 第
- 1 あいさつ
 - 2 副会長の選任について
 - 3 議題
 - (1) 令和5年度事業進捗状況について
 - (2) 令和6年度事業計画について
 - 4 意見交換

委員の食育活動紹介・情報共有等
 - 5 その他

- 配布資料
- ・次第、名簿
 - ・令和5年度実施事業一覧
 - ・令和6年度事業予定一覧
- (参考資料)
- 第3次日進市食育推進計画 基本目標・基本方針・目標値指標一覧
 第3次日進市食育推進計画 目標値指標対応事業数一覧

発言者	内容(要旨)
事務局	・開会(午前9時30分)
事務局	本日は委員10名のうち9名が参加いただいております。出席の委員が半数以上となっておりますので会議が成立しますことを報告します。 それでは、会長より挨拶をお願いします。
会長	(あいさつ)
事務局	ありがとうございました。それでは、次第2の副会長の選任について、副会長は会長が指名することになっておりますので会長の安達委員から指名をお願いします。
会長	農業事情に精通しているあいち尾東農協(以下「農協」)の鈴木委員でお願いい

発言者	内容（要旨）
	たします。
事務局	ありがとうございます。副会長は鈴木委員にお願いします。 (副会長配置換え) では、安達会長に議事の進行をお願いします。
会長	議案に入る前に、本日の会議の傍聴の申出はありますか。
事務局	1名の傍聴の申出があります。
会長	傍聴の申出があるとのことですので、傍聴者の入室を許可してもよろしいでしょうか。 傍聴者の入室を許可します。
会長	それでは次第に沿って進めていきたいと思えます。 次第 3 議題(1)令和 5 年度事業進捗状況について事務局より説明をお願いします。
事務局	(事務局及び関係部署より抜粋して説明。) ※農政課、健康課、こども課、学校給食課、名古屋学芸大学、農協の順
会長	ありがとうございます。ただいまの説明について何かご意見やご質問などはありませんでしょうか。38 番について、久野委員に補足説明をお願いします。
委員	4 回コースで1年間で2回、毎週土曜日に開催しており、食生活改善推進員は食器洗い等をしてサポートをする役目です。学生が研究対象の小学生をチェックしていました。2 月初旬の食生活改善推進員の定例会に名古屋学芸大学の方に研究結果を報告していただきました。ただ、2 回しか行っていないため、2 回でどれくらい料理ができるようになるかは調査ができないとの結果でした。 今回好評だったため、来年度も開催する予定とのことでした。
会長	ご質問がないようですので、続いて次第 3 議題 (2) の令和 6 年度事業予定について事務局より説明をお願いします。
事務局	(事務局及び関係部署より抜粋して説明。) ※農政課、健康課、こども課、学校給食課、名古屋学芸大学、農協の順
会長	ありがとうございます。ただいまの説明について何かご意見やご質問などはありませんでしょうか。 目標値指標対応事業数一覧を見ると令和 5 年から令和 6 年にかけて 31 の指標項目が減少しているのが気になりますが、それも含めて何かご質問等ありませんでしょうか。
委員	進捗と予定がそれほど変わらないのに、なぜこれだけ減少しているのでしょうか。
事務局	影響が大きいところで言うと、学び支援課が例年食育に関する講座を多く開催していますが、令和 6 年度についてはまだ未定とのことですので事業が確定すれば例年通りになると思われます。
会長	大学側としては、大学提案型連携協働事業として市民協働課から補助をいただき、大学と市が行いたい事業をお互いで調整して行っている事業がありますが、継続をしていると、担当課で予算を組んでもらい行ってくださいと言われると継

発言者	内容（要旨）
	<p>続ができなくなることがあります。</p>
事務局	<p>大学との連携事業については、市民協働課で大学との連携事業を試み的にしながら良い事業については毎年継続して行っていました。現在は9つの大学と包括協定を締結しており、あらゆる分野で様々な事業が行われるようになったことや予算との関係もあり、新規性のない事業については行えない状況があります。各部署で予算を確保しなければならない状況になり、予算が確保できていないということだと思えます。</p>
委員	<p>アグリスクールのオーガニック野菜作り体験コースとオーガニック米作り体験コースと出荷販売コースとありますが、有機農業者で認証を取っている農家として、オーガニックや有機野菜という表記は厳しくなっていて、違反などがあると指導が入ることがあります。出荷販売コースは出荷販売に関わるため、受講生が正しい知識を持って出荷販売を行えるような指導が必要なのではないかと思えます。</p>
事務局	<p>野菜作り体験コースと米作り体験コースについては、親子体験で農薬を使用せず有機たい肥を使用して昔ながらの農法を体験してもらうコースになっています。</p> <p>出荷販売コースでの有機の取組については、4人の講師の内3人が愛知県の農業総合試験場のOBで、もう1名は種苗会社のOBの方ですが、有機栽培については、農業総合試験場のOBに指導していただく予定です。有機JASの認証を得ていないと有機と表記してはいけない等、受講生に指導していただけたと思います。</p>
会長	<p>農協が行う小学校の出前講座や野菜栽培講習とうまく絡めると食農教育コンテストに応募できると思いますので、栄養教諭の方や農協と連携をしながら行っていく必要があると思います。最近の傾向としては、農協と連携して野菜を栽培し、栽培したものをさらに地域や道の駅で販売をするパターンが多かったように思います。5年生で米の栽培をすることが多かったですが、地域の特産を栽培するのも大事だと思います。栽培した野菜などを子供たちが6次産業化して販売までしているところもありました。</p> <p>今回、三河地域が多く尾張地域の小学校が少なく地域に偏りがあったため、もう少し愛知県全体から出てくると良いと思いました。</p> <p>愛知県の教育委員会と農協から公募しているようです。</p> <p>農協としても広報が足りなかったところを反省点として挙げていました。</p> <p>来年度も進めていく中で事業が増えていくと思います。</p> <p>それでは、次第4の意見交換に移ります。委員の皆さんのそれぞれの活動状況や日進市の食育事業への提案や要望等ありましたらお願いいたします。</p> <p>朝井委員からお願いします。</p>
委員	<p>商工会として日進ブランドプロジェクトとして特産品輩出事業を昨年の9月頃から行っています。鈴木委員と産業振興課に参加してもらい行っています。</p> <p>日進市産の特産品として農産物で登録がされている、米・小麦・プチヴェール</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>を使用して、日進の文化に絡めながら新しい特産品を開発しようと活動しています。スイーツ限定で開発を進めています。</p> <p>ただ、米・小麦・プチヴェールはあいち尾東産となってしまうため、日進市産の農産物として使用するのは難しいところでもあります。</p> <p>学校教育課と連携して小学生にロゴデザインを公募して、春まつりや夢まつりでロゴデザインを決定して産業まつりで公開する予定で進んでいます。</p>
事務局	<p>日進市産の農産物を活用して特産品のスイーツを開発するというのですが、こういったメンバーで考えられているのでしょうか。</p>
委員	<p>現在、7店舗から8店舗参加しており、それぞれの店舗でオリジナルのスイーツを1つ開発してくださいとなっています。</p> <p>日進市産として表示できる商品が少ないため、農家個人から仕入れれば日進市産として表示できますが、農協から仕入れてしまうと日進市産の表記ができないため、小麦だと愛知県産になりますが日進市の特産品として登録されているのが3品のためそちらを使用して開発することになっています。</p>
会長	<p>ロゴマークということですが、にっしん育ちのシールとはまた違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>にっしん育ちのシールについては、名古屋学芸大学のデザイン学科の学生に考えてもらい、日進市産の野菜に貼っています。</p>
委員	<p>公募が2月に依頼しているため3月中旬まで応募期間があります。春まつりまでに集まったデザインを名古屋学芸大学に依頼して形にさせていただく予定です。</p> <p>小学生の発想を活かしたいため、あまり変えるようなことはせずにロゴマークとして作成させていただく予定です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして吉川委員お願いします。</p>
委員	<p>梨子の木小学校の関係ですが、学習園や学習林があるため家推や地元農家と一緒に自然に触れ合える環境がある学校だと感じています。今年も玉ねぎやさつまいもの苗植えや収穫が人気で多くの親子に集まっていただき行いました。タケノコ掘りも春に行い、とても人気でした。</p> <p>体験もですが、地元の農家と触れ合えたり、支えてもらっているということを知ってもらうため、感謝の気持ちを伝える会というものを開催しました。</p> <p>普段お世話になっている農家に来てもらい、感謝の手紙を渡したり歌を歌ったり、話を聞かせてもらったり質問タイムを設けて子供達の疑問について答えてもらいました。</p> <p>実際に話す機会がなかなかないため、良い機会になったととても好評でした。</p> <p>こういったことを通じて、地域の人たちに支えてもらっていることや食べ物を大事にするという心が育っていくかなと思いました。</p> <p>以前、鈴木委員に提案いただいた出前授業の件を校長や教頭に話したところ、すごく良い考えだということで今年は開催できませんでしたが、今後開催していければと思っています。</p> <p>梨子の木小学校の子供達の体幹が弱く、体幹を鍛えるようなことを行っていま</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>すが、他の小学校に比べて給食の残菜が多いということで先生の皆さんにも声掛けをしていただいています、なかなか強く言えないのが現状でどのように声掛けをしていけば良いかが悩みです。</p>
事務局	<p>市内の小中学校の残菜は毎日給食センターで戻ってきたものを主食と副菜に分けて計量を行っています。それをグラフ化して、給食連絡会で毎月報告していますが、その日の感染症の人数などで休みが多いと残菜も多くなってしまいう現状があります。</p> <p>確かに、梨子の木小学校は今年度他の学校と比べると残菜の量が多かった印象があります。各クラス、学年で食べていけるような指導は必要だと思います。体格が小さいと食べられる量も少なくなってしまうので、基本の基準がある中で体格が小さい子どもでも食べられるように基本の基準を年単位で標準量にしていく必要があると思います。</p> <p>来年度の給食連絡会でも学年の主食の標準量を先生方に知っていただき、その量を全員に配ると空になるという認識を持ってもらい、空にならないのは量の調整をしすぎているということになることを伝えつつ、試食会の際にも保護者に主食の量はこれくらいということ伝えていくことで、家庭や学校で必要な主食の量を知ってもらうことができると思います。</p>
会長	<p>食べさせられたではなく、自分でその量が適量であるという認識ができるようになると良いと思います。</p> <p>ありがとうございました。続いて、村瀬委員お願いします。</p>
委員	<p>毎年5月に相野山学区では日進産のもち米のこはるもちの田植え体験をしています。今年度は約30世帯の親子参加があり、大いに盛り上がりました。田植えと綱引き体験を行いました。収穫の稲刈りと脱穀は学校行事と重なるため、なかなか体験はできないですが、参加してもらったご家庭に12月に収穫したもち米を届けました。</p> <p>個人的には職場で食育に絡んだ会話をするように心がけています。その中で、学校給食のメニューにセレクト給食というのがあり、子供達が心待ちにしていたという話を聞くことができたり、日進産の農産物を使用した給食が増えてきたという話も聞くようになりました。</p> <p>また、毎月19日が食育の日ということも少しずつではありますが多くの方に広く周知されてきている印象があります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続いて植木委員お願いします。</p>
委員	<p>毎年市民講座を5回行っていますが、今年度は保護者が入らず直接子供達に伝えられるよう、子供のみ対象で給食講座を行いました。メニューのひきずりは栗木栄養教諭に教えていただいたもので、にんじんご飯は伝承料理の生活改善実行グループのレシピを採用しました。ヨーグルトアイスに関しては、愛知牧場にご協力いただき、ブルーベリーとヨーグルトを提供していただきました。ヤクルトにもお越しいただき、講義もしていただきました。</p> <p>子供達からも日進産の野菜を使用して料理を家庭でも作ってみたいという感</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>想もありましたので続けていけるといいと思っています。</p> <p>給食のコンテストでグループのお子さんがコンテストに応募して今年優秀賞を取ったという話もありましたので、そういったレシピも来年度の給食講座で行っていききたいと思います。</p> <p>6次産業に関しては、今年度、味めしという「老舗の日本料理屋」のレシピを継承し、こはるもちを使用したものを市民まつりや端っこマルシェ、愛知牧場などで昨年から6次産業商品として作っている鬼まんじゅうと一緒に販売を行いました。</p> <p>日進産という明記をしないといけないということなので、農政課に協力いただき、直接農家さんから仕入れたものを使用しました。</p> <p>味めしは3種類あり、さつまいもと塩麴を使用したものと黒米と醤油麴を使用した味めしを今年度販売しました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続いて岩本委員お願いします。</p>
委員	<p>野菜研究会は高齢化しておりますが、毎週朝市で野菜の販売をしております。こども課の木村さんから保育園給食の話がありましたが、来年度は作付けの段階から計画的に積極的に有機農産物を保育園給食で使用していただけるように相談していききたいと思います。</p> <p>れんげ田通信を名古屋学芸大学のデザイン学科の学生に漫画形式で作成していただき、昔ながらの農法を広報で紹介しています。</p> <p>昨年、れんげを田に植えてそのれんげをすきこんで肥料にして米やもち米を作っていますが、名古屋から来た人に田を荒らされる経験をしたため、昔ながらの農法を知ってもらう機会を作ってもらえないかということで、今回広報に掲載していただきました。</p> <p>個人的には、いろや農園で活動していますが、ごみを出さないように袋を使わず、計り売りや詰め放題等の取組をしています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続いて久野委員お願いします。</p>
委員	<p>食生活改善推進員は今年度は予定通りに事業が終了しました。来年度は、市民会館での活動に戻る予定です。</p> <p>今年の傾向としては、子供の事業についてはキャンセル待ちが出るほど人気になっていますが、成人の事業については集まりが悪い印象があります。</p> <p>市民会館になると会場が大きくなる分人数も増えるので、その分の人数を増やすのが大変になると思います。</p>
会長	<p>保健センターの事業はいかがですか。</p>
事務局	<p>保健センターで成人の事業を行うことはなく、老人クラブ等の集まっている場所に行くことが多く、そのような場所で時期が合えば周知を行うことはできますが、移動手段がないなどの理由で参加率が上がらないというのはあると思います。</p>
事務局	<p>成人の講座はどういったものを行っているのでしょうか。</p>
委員	<p>成人の料理教室を行っています。</p>

発言者	内容（要旨）
事務局	生活改善実行グループの講座も親子講座は人気ですが、個人の講座で集まらないことがありますよね。
委員	今年は五平餅の講座が親子には人気がありましたが、個人の講座は集まらなかったです。生活改善実行グループとしては、3月の味噌作り講座で使用した味噌を展開する料理として秋に五平餅の講座を行いたいという思いがあるので、来年度は個人の講座はやめて親子の講座で午前と午後に行う方向で話を進めています。新しい、大人が興味のあるレシピを考えなければなかなか集まらないのかなと思っています。
委員	興味がある人は料理教室等に通っていると思うので、わざわざ市の講座に参加しないと思います。親子だと自分が料理するのが嫌だから参加しないという人もいますので、興味のある人とない人の差を埋めるのは難しいと思います。
会長	無関心層をどうやって関心を持たせるかということ考えると食環境をよくするしかないのかなと思いますが、取り残されてしまう抜け落ちがちな20代、30代の世代に関心を持たせるにはどうしたらよいか重要になってくると思います。親子だと30代や40代になると思うのでその世代は補えると思いますが。
委員	生活改善実行グループの講座では最近30代の若い世代が増えてきた印象があります。逆に40代、50代の今まで参加していた世代が少なくなっているように感じます。30代で手作りを重んじている人は、小さい子どもをおんぶして個人の講座を受講していたりします。幅広い世代が興味を持つような魅力的な講座を考えたいと思っています。
会長	健康格差が広がっていくことは避けられるようにしていけたら良いと思います。 ありがとうございました。最後に鈴木委員をお願いします。
委員	まちミル博覧会への出店や職場体験の受け入れを行いました。食育の食材に対してであったり、食の現状を説明したり、知らないことを学ぶ機会はなかなかないので、そのような機会を作ろうといろいろと活動をしています。 日進市を食べる日のイチジクジャムのカップケーキのジャムを炊きましたが、中学生に聞いたら、なぜイチジクなのか、イチジクが好きな子供が少ない、なじみが少ない等の声が聞かれました。カップケーキが出たこと自体は嬉しかったけどやはりなぜイチジクなのかという声が多かったです。
事務局	市内でイチジクを栽培している状況を知らないという状況があるので、これを機に生産量を増やしていければと思っています。
委員	小学生はイチジクが苦手な場合が多いので、もう少し馴染みのある食材の方が良いと思います。 保育園給食に有機野菜を使用しているということで、自分の子供が通っているこども園ではメニューにそのような記載がないので使用しているかもわかりません。記載があると安心できるなと思いました。
事務局	先ほどの説明は公立保育園の給食ですので、公立保育園のメニューには記載があります。

発言者	内容（要旨）
事務局	岩本委員に協力してもらい、有機農法等の情報が掲載されているリーフレットを作成して保護者にデータで配信をしています。
事務局	私立の園では、園ごとに違います。自分の園で全て給食を作っているところもあれば、業者に委託しているところもあります。私立園の7割くらいは委託で作っています。
委員	日進のスイーツを作る活動の中で、農政課も絡めて行うことはできないのでしょうか。
委員	立ち上げた際に、商工会には産業振興課が入っていることは知っていましたが、農政課からも話をもらったのと、農政課と農協を委員に含めた方が情報の絡みが良いのではないかという話をしましたが、立ち上げ後の話で合ったため、そのあとの委員の追加は止めている形です。
事務局	情報は商工会から求められているので連携は取れています。
委員	米粉と小麦とプチヴェールにプラスして何かを入れるという話がありましたが、日進の農家がいろいろな作物を作っていてそれを掛け合わせたりとか、農政課がある程度情報を持っているのであれば教えてもらう方が良いのではないのでしょうか。
委員	かけるほうではなくて原材料に入れた方がいいと思います。日進市産の農産物を使用したという形で入れて、日進であれば岩崎城に絡めたりして特産品として手土産などになるものだと名産品として取りやすいと思いますので原材料の部分とデザインの部分で両方合わせる形になっています。
委員	野菜でスイーツを作るのは難しいのでしょうか。
委員	作ることにはできると思います。ただ、それが特産品としては認められていないので将来的には日進産の野菜を使用した特産品として出せればと思います。
委員	伝承料理の先輩からにんじんのカップケーキを保育園で何十年も出しているということを聞いており、愛知県の推進大会に参加した際に伝承野菜の説明してくれる人がいて、八事ににんじんが伝承野菜として登録がされていて、野菜の登録自体は簡易に登録ができるときいています。日進でも八事ににんじんを昔から使用していたので、日進市として登録ができると良いと思います。
会長	ありがとうございました。最後にその他について何かあればお願いします。
事務局	日進市産イチジクジャム入りカップケーキの話がありましたが、半年以上前から計画を立てて進めていく中で、イチジクになった経緯をお伝えすると、元々はぶどう農家さんやいちご農家さんがあるということで声をかけさせていただき、農協にも声をかけた中で、時期的に10月に間に合うようにたくさんの生産量がなく、市内の食数が9900人分ということで最低でも50kgは必要だったところをイチジクでも20kgしか確保できず、イチジクでやっとカップケーキを作れる量になったのでイチジクになりました。 こちらとしても、子供がイチジクが苦手ということは認識しておりましたが、日進市産にこだわるとなるとなかなか難しかったということと、50kg確保したかったところ20kgしか確保できなかったため、最終的には愛知県産のイチジクピ

発言者	内容（要旨）
	<p>ユーレをカップケーキに使用しました。またたくさんの子供に食べてもらうため、乳・卵・小麦を使用しないカップケーキだったため、豆乳と米粉を使用しました。みんなで食べられる日進市の特産のイチジクカップケーキということを知ってもらおう機会になったと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>結果的にイチジクになりましたが、なぜ日進市でイチジクになったかというストーリーがあると子供達ももっと興味を持って食べられるのかなと思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>リーフレットを作成しているので、見ていただくと良いと思います。日進でも熱心に取り組まれているイチジク農家があり、学校給食課としても栄養があるということが子供達に伝われば良いと思って今回提供しています。</p>
<p>会長</p>	<p>以上ですすべての項目が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第2回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
	<p>閉会（午前11時15分）</p>